

防  
牒

高岡産業案内

高岡商工會議所

特 252

374

十五車刊行



始



増252  
374

昭和十五年刊行

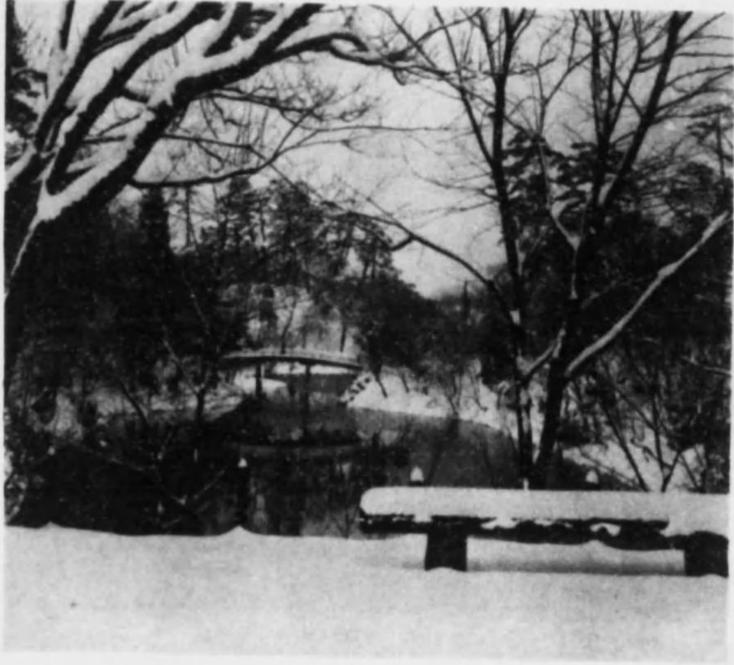


業案内

高岡商工會議所







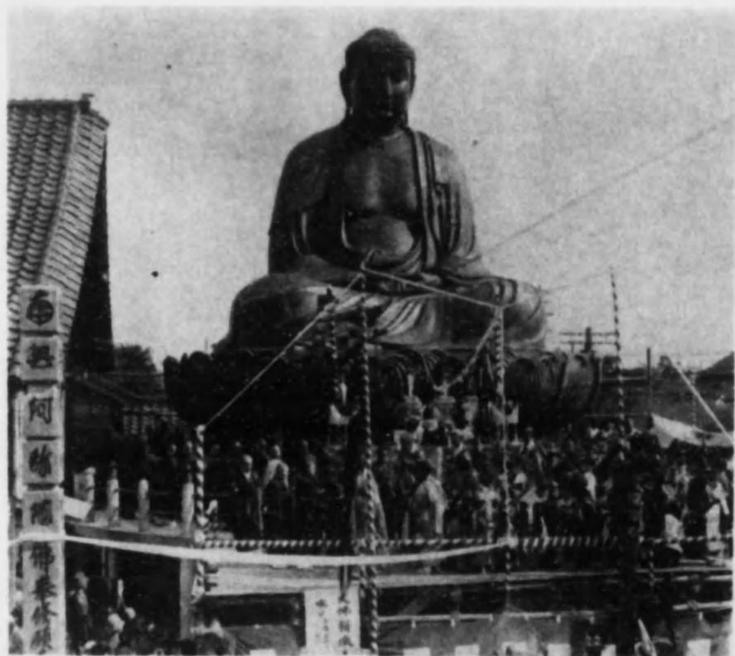
高岡公園ノ雪景



駒馬場ノ花ルタ欄



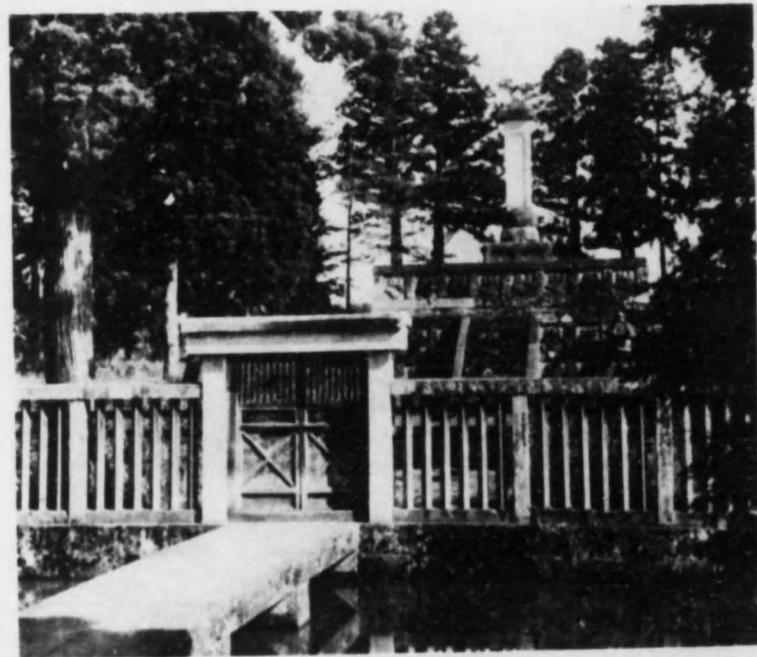
國幣中社射水神社



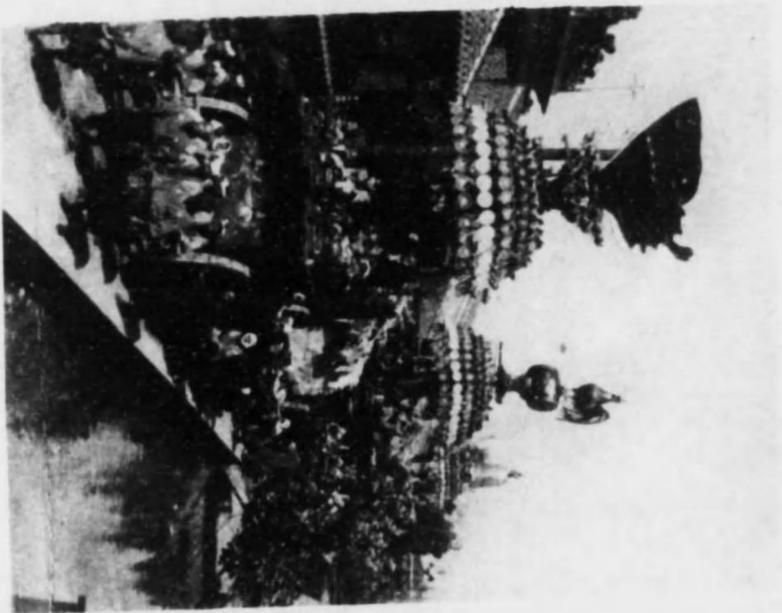
高岡大佛  
(今日三大佛一)



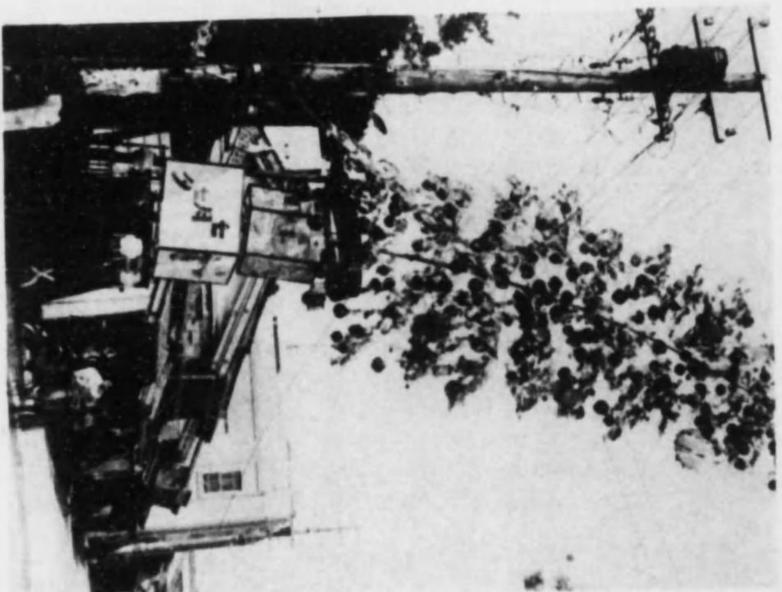
寺 龍 瑞 山 岡 高  
(物 造 建 寶 國)



廟 御 卿 長 利 田 前



山曳御物名



祭夕七物名

## 高岡産業案内

### 一、沿革

前田利長柳築城以前に於ける本市の状態に就ては文献の徴すべきもの甚だ少く正確を得難いが、諸書に散見する異説を綜合して上古塞口セキグチの郷ノと稱し、中古に關野セキノ又は關野ヶ原と稱へ、又二上山下の二上ノ莊の一部であつたことが知らる。爾來幾多の星霜を経て慶長十四年（紀元二二六九年）九月利長士臣四百三十名を従へて新城に移住し來られ、同時に工商六百三十戸許は富山、守山、木舟の三城下から陸續移り來り、京師の街衢に倣ふて定められた町割によつて各其居住を占めてより、茲に初めて高岡の基礎を拓くに至つた。

慶長十九年五月利長柳享年五十三才を以て高岡に薨去せられてより、間もなく高岡城は廢毀せられたるも附近守山又は木舟城の廢頽に拘らず、獨り高岡のみは衰亡することなく反て其繁賑を増すのみであつた。

其後金澤、小松と共に加賀藩の三城下を以て數へられ、明治四年金澤の管轄となり、全年七尾縣に改め、全五年更に新川縣と變り、全九年新川縣廢せられて石川縣に屬し、全十六年五月越中國一圓を以て富山縣と定められ、全廿二年四月に市制を施行せられ、大正六年五月に掛開發村を、全十四年八月に下關村を、又昭和三年六月に、横田、西條村を、昭和七年十月佐野村木津の一部を、又昭和八年八月二上村を市に編入して、大に其廣袤を擴張した、其間屢祝融の災に罹り市街の大部烏有に歸し、又は諸川氾濫の厄に遭ひ慘憺の光景を呈せしことあるも、堅忍不屈の氣に富める市民は益々發奮興起する所あつて、能く文化の進展に伴ひ着々市街の規模を大にし、今や都市計畫の實施と主要幹線道路の鋪裝によつて一層都市の美觀を添へ面目を一新するに到つた。

## 二、面積及地勢

本市は富山縣射水、氷見、東瀨波、西瀨波四郡の中樞に位し、東經百三十七度二分、北緯三十六度四十五分、海拔八米二〇の所に在りて、其面積二一・八平方軒餘、周圍三五軒を算し、極東中川より極西北島間六軒、極南京田より極北城光寺間八軒に及ぶ

地勢は庄川、小矢部川、東西南流域の間に介し、南に高く北に低く緩傾斜をなし北陸本街道に當り東南は遠く射水、兩瀨の平野に連り、西方一帯は國吉、守山等の諸村を距て、西瀨波郡、氷見郡の山地に續く、又市街の中央を千保川南北に貫流し市の北で小矢部川に合し、舟楫二軒余にして伏木港に達する、北方は坦々開けて越中灣に臨み其距離漸く二軒を出でない

## 三、市街及戸口

最近附近村落の編入によつて現在町數九十七ヶ町を算す

市の西端から東端に向つて北陸街道蜿蜒々市中を貫き、其國道に沿ふ中心附近就中旅籠、通、御馬出、守山、木舟、小馬出坂下、一番町通り、片原町通り、末廣、御旅屋の諸町は商業街として殷盛を極め、又千保川畔から西部一帯横田、金屋、内免町方面は工業地帯として、本市特産銅鐵器、紡績、捺染等諸種の工業此處に蝟集してゐる

現在戸數	一二、三一四戸
現在人口	二九、八一〇人
男	三〇、六七二人
女	六〇、四八二人

## 四、商業

利長卿高岡築城以來已に三百三十有余年、幾たびか時勢の變遷を経過したが、藩政時代より千保川の水運を利用し瀨波射水兩平野を控制して伏木、六渡寺等の港灣に出入なし、殆んど全越中の通商航海の中心点たるが如く、古より商業開け殊に木材、石材、綿などに對しては藩主から種々の特權と保護を與へられ、其綿場の如きは維新後に到るまで旺盛を極めたもので、現在高岡米穀取引市場の前身をなしたものである、其他廻米又は川下げと稱し瀨波川上、射水の産米を小矢部川の水運によつて、伏木港より遠く江戸、大阪にまで廻漕したる外、常に江戸、大阪は勿論北海の隙僻と往復して商權を張り福井、石川、富山、新潟、北陸縣下に覇を唱ひ、高岡商人の名は歌はれ來つたこと實に久しく、商業發達の起因淺からざるものとす、今や通信、交通機關の完備と共に益々進展の途上にある

## 五、工業

**銅鐵器** 本市の工業は藩主利長卿城地を定むるや先づ幾多の工業を興し、大に奨励保護を加ひられたるに端を發し、本市商業の發達と相伴んで古き歴史を有するものとす、中でも工業發達の先驅をなしたるものは鐵鑄物で、利長卿在城中即ち慶長十六年（紀元二二七一年）九月瀨波郡西部金屋村に居住せる鑄物師金森、喜多、般若の姓を有するもの七名を高岡へ招致し、鑄物工場五ヶ所を建設開業せしめ之に多大の優遇を與へて以來、茲に本市銅、鐵器工業の起因を爲したもので、其後寶曆（約二百七十年前）頃から鐵器の外唐金鑄物、佛具、香爐の製作漸く盛となり、就中多數鑄造せし墨斗ヤクテに銀象嵌を施したるもの一ヶ年産額已に數萬圓に達し、明治初年以來佛具、火鉢の製産は益々旺盛となり、現今本邦に於ける唯一の特産地たるを得たのである

**漆器** 銅鐵器に亞ぎ漆器工業も亦古き沿革を有し、明和、安永の頃には已に、辻丹楓（丹甫と同一人ならんともいふ）の如き漆技彫鏤の名工現はれ、其後天保に至り板屋小右衛門（或は板小と略稱す）石井勇介等の名匠相踵で出て漆器

史上に異彩を放つもの少しとせない、之が爲め本市漆器中特に其銷繪塗、勇介塗、彫刻などは獨特の雅趣妙技を存し、今日尙世上に廣く賞揚せらるゝ所以である

**捺染** 明治末節の創設工業なるも美術的捺染として配色鮮麗、意匠優美實用に適するを以て急激なる發展を爲し現今人絹及富士絹等の捺染を産し殊に輸出人絹は躍進的發展増加を示し昭和九年一月より商工省富山輸出絹織物検査所高岡支所を設置され以來逐年産額を増加せり

### 六、高岡商工會議所

高岡商工會議所は明治二十八年十二月十三日荻井甚兵衛外十五名發起となつて高岡商工會議所の設立を申請し、明治二十九年二月農商務大臣より定款其他の許可を得て、全年五月三十一日初めて議員三十名の選舉を行ひ茲に完全なる創立を見るに至つた

其後明治三十五年三月商業會議所法の發布あり、全三十六年十月に本市利屋町一番地現在土地を購入し、家屋を新築移轉し今日に及んだ、昭和三年一月一日商工會議所法の改正實施によつて、名を高岡商工會議所と改めた

當選年月	會頭	副會頭
明治二十九年七月	故菅野傳右衛門	故正村義太郎
三十一年四月	全	全
三十三年四月	全	全
三十三年十月	故正村義太郎	故木津太郎平
三十四年六月	故木津太郎平	故本間常吉
三十五年四月	全	全

年次	議員名	住所	電話番号	氏名
三十六年二月	全	高岡市大野	三、五、六〇	銀行業、信託業代表 正村六之助
三十六年五月	故荒井莊藏			
三十八年一月	全			
四十年二月	木津太郎平			
四十二年二月	全			
四十四年二月	全			
大正二年一月	菅野傳右衛門			
四年二月	故平能五兵衛			
六年一月	菅野傳右衛門			
九年十二月	全			
十四年一月	木津太郎平			
十九年一月	荒井建三			
昭和四年一月	故室崎間平			
八年一月	全			
十二年一月	全			
十三年十一月	荻布宗太郎			
又現在本所の顧問、議員及職員は次の通りである				
	石黒茂三郎			
	全			
	全			
	荻布宗太郎			
	荒野權四郎			
	全			
	全			
	全			
	荒井建三			
	全			
	全			
	全			

席次 銀行會社重役 高岡市大野 電話番號 銀行業、信託業代表 正村六之助

二番	海産物商、銀行會社重役	高岡市中川原町	長一四六	魚市場、魚販賣業代表
三番	會社重役	全 定塚町	長一三〇七	萩布宗太郎
四番	荒物疊表商	全 小馬出町	一五	電氣業代表
五番	交房具商	全 小馬出町	五七一	吉田作助
六番	藥種商	全 木舟町	五一六	井本和平
七番	酒類商、會社重役、市會議員	全 坂下町	一三	谷道岩治郎
八番	織物商	全 定塚町	八五五	棚田喜作
九番	洋反物商	全 末廣町	二一	朝山次助
一〇番	菓子商	全 小馬出町	六一九	菅原敬兵衛
一一番	鐵工業	全 鴨島町	八七	梶川伊八郎
一二番	金物商	全 末廣町	六一五	藤田恒善
一三番	銅器商、市會議長	全 橫田町	一九五	中村宇太郎
一四番	紙商、市會議員	全 小馬出町	五	杉本喜右衛門
一五番	捺染業、會社重役	全 定塚町	七二六	銅器製造業、全販賣業代表
一六番	メリヤス商、會社重役	全 小馬出町	二二五	佐山長三郎
一七番				島田喜太郎

六 員

一八番	銅器商	全 橫田町	八四〇	鳥崎彌五郎
一九番	米穀商	全 平米町	七三六	松村榮太郎
二〇番	銅器商	全 旅籠町	一〇〇二	河野常太郎
二一番	銅器商、會社重役、市會議員	全 金屋町	長三五八	大寺幸八郎
二三番	肥料商、會社重役	全 上川原町	四五〇	高岡魚業株式會社代表
二四番	漆器商、市會議員	全 白銀後町	四九九	苗加八太郎
二五番	魚商、會社重役	全 中川原町	四〇五	漆器製造業、全販賣業代表
二六番	酒造業、會社重役、市會議員	全 總手中町	五五七	高岡魚市株式會社代表
二七番	太物商、高岡商工組合聯合會長	全 小馬出町	一二〇	藤川彌三吉
二八番	酒類商	全 一番町	二六七	清都慶介
二九番	米穀問屋業、會社重役	全 羽衣町	七二八	石黒茂三郎
三〇番				宗玄清作

七 氏名

席次 業職名 住所 電話番號 菅野傳右衛門

顧問

二番 市長、銀行、會社重役  
 三番 銀行、會社重役  
 四番 酒造業、會社重役  
 五番 藥種商、會社重役  
 六番 會社重役

役員

高岡市末廣町 五〇 木津太郎平  
 全 源平町 七 荒井建三  
 全 百姓町 二二七 荒野權四郎  
 全 元町 六六一 井上塩六  
 全 御馬出町 四三六 菅池岩吉

職員名  
 會頭 萩布宗太郎  
 副會頭 石黒茂三郎  
 常議員 正村六之助  
 全 吉田作助  
 全 谷道岩治郎  
 全 井波義兵衛  
 全 増原長七  
 全 朝山次助  
 理事 越野長二

七、交通、運輸

高岡驛は北陸本線中の主要驛で支線中越線、水見線、新湊線を南北に分岐し、北は伏木港から水見町又は新湊町に連絡し、南は彌波平野を縦断して城端町に到り、昭和四年十二月本市の東端に新設せられた越中中川驛及高岡驛とによつて、旅客及貨物を吞吐せらる、本市を中心として周圍數里の間に介在する幾多の町村とは、近年自動車の便開け實に四通八達の觀ある  
 加ふるに本市の西部を貫流する千保川は北に於て小矢部川と合し、古來伏木港と舟楫の便を有し貨物の上下漕運盛に利用せられ、本市の産業に資すること頗る大なるものある

八、官衙、學校

本市に存在する官衙、學校の主なるもの次の通りである

官公衙	役所	片原横町	郵便局	御馬出町
裁判所	裁判所	中川	稅務署	全
區裁判所	裁判所	全	富山輸出絹織物検査所高岡支所	横田

書記 谷崎秀雄  
 全 門島義一  
 全 平野基八  
 全 定塚源次

富山縣工業試驗場	中川	高岡警察署	片原横町
執達吏役場	全	公證人役場	中川
富山縣農産物検査所高岡支所	公園内	高岡市商工獎勵館	櫻馬場
富山縣高岡土木出張所	全	庄川改修事務所	赤祖父
富山縣高岡財務出張所	全	小矢部川改修事務所	開發町
高岡圖書館	全		

學校

高岡高等商業學校	古定塚	横田町尋常高等小學校	早川
縣立高岡中學校	中川	成美尋常高等小學校	成美町
富山縣立工藝學校	全	博勞町尋常高等小學校	博勞町
縣立高岡商業學校	源田	川原町尋常高等小學校	榮町
縣立高岡高等女學校	横田	平米町尋常高等小學校	平米町
市立高岡高等女學校	芳野	定塚町尋常小學校	定塚町
市立高岡商工青年學校	博勞町	下關尋常小學校	下關
私立高橋家政女學校	宮脇町	二上尋常小學校	二上
私立高岡裁縫女學校	下川原町	横田西條尋常高等小學校	横田

幼稚園

私立高岡幼稚園	鴨島町	私立北陸女學校第三幼稚園	坂下町
---------	-----	--------------	-----

私立志貴野幼稚園 定塚町

九、名所、舊蹟

高岡公園 (高岡驛ヨリ北四丁)

慶長十四年前田利長卿築城の舊城で、其面積七萬二千六百六十一坪地勢高爽で老松古杉蒼鬱として茂り櫻樹其間を点綴し、環すに碧池を以てし園内眺望に富み、四時曳箒の客絶ゆることなく城趾公園として全國有数の一なりと稱せらる

高岡城趾

俗に古城フルシロと稱し櫻馬場を通り抜け盡くる所から、現在の高岡公園の地積一帯が即ちそれである、三百年前徳川の天下未だ定まらざる頃前田利長馬を關野の原頭に停め、居城の地を此處に卜し古詩の「鳳凰鳴干彼高岡」に因んで關野を高岡と改められたもので、當時の櫓樓、殿閣は廢毀せるも、塹壕依然今に存し洪水深く丘上の老樹と共に慶長の昔を偲はしむるに足る

櫻馬場 (高岡驛附近)

慶長の普利長卿在城の時騎射場として開設せし遺蹟で、兩側の長堤に櫻樹列なり幅員九間半、延長二百七十六間、老櫻三百余株に及び、春風踏蕩の花季には香雲飄舞たる花の馨道と化し、遠近より集る観客雜踏して皆花に酔はざるを得ない

國幣神社 射水神社

高岡公園の入口昔の搦手から左折すること百數十歩、老樹鬱々松杉相交るところ神韻嚴かに鎮座せる社殿は、瓊々杵尊を

祀れる國幣中社射水神社である、又一説には二上神即ち天牟羅雲命を祀り上古葦原中津國の水悪しき爲め天忍石の長井の水を持ち降られた神で、射水は忌水の義なりとも云はる  
延喜の刻名神大社に列し古は一に二上神と稱し元二上村に在つたが、明治八年今の地に移り越したもので、明治十四年一月大雪の爲に倒潰せしを同十五年五月之を再築し、同三十三年六月本市大火災に社殿類焼し同三十五年八月現在の本殿、拜殿、神饌、社務所の四棟竣工し、大正四年十月神樂殿竣工せり、境内幽遠の氣に滿ち賽者自ら標を正し崇敬せせらしむ

社縣 高岡關野神社 (高岡驛ノ西北約二丁)

もと伊弉册尊を祀る關野神社と前田利長卿を祀る高岡神社とを大正八年九月合祀せられ縣社に列す、古來有名なる金碧燦爛なる山車ダシを曳き廻るこの神社の大祭は毎年五月一日に之を行はる  
現在の社殿は明治三十三年六月の大火に焼失後大正七年六月再築落成したもので、社宇宏壯にして神苑は老鬱たる松杉を以て圍まる

瑞 龍 寺 (高岡驛ノ西南四丁)

明暦二年三代前田利常卿が良材を蒐めて、支那臨安府經山萬壽寺の造法に擬して建設せられたもので、結構至らざる所なく、釋迦堂、法堂、總門は共に國寶建造物に指定せられ、侯爵前田家代々の菩提寺であるが、昭和十年十月より昭和十三年三月に亘り總工費八萬圓を投じ大修理を施され更に面目を一新せり

繁 久 寺 前田利長卿ノ墓 (高岡驛ノ東南三丁)

永祿年間射水郡南條城主加納中務の開基で、慶長年間水見郡より移り來り、曹洞宗で前田利長卿の墓地を護らしめる

寺院のすぐ傍にある利長卿墓は世嗣利常の建設せるもので、碑石聳然として高く利長の遺徳溘として千古に滲る所なく、拜者追慕欽仰の念に堪へざらしむ、茶城を圍むに井然たる石柵を以てし、柵外四邊に池を繞らし大小數十の石燈籠を配し、其規模宏壯を極め加ふるに老樹參差梢を交へて幽趣掬すべきものある

恒性皇子御陵墓 (郊外西南二十五丁)

高岡驛から中越線にて次驛二塚驛で降るれば僅かにして御陵に達する、後醍醐帝第十六王子恒性の宮北條高時の爲め此地に幽閉され給ひ、間もなく元弘三年名越遠江守時有の爲に執せられ給ふた遺蹟で、近年宮内省にて御陵墓と決定し大に墓地を補修せられた、祠前に拜跪し蒼涼萬古吉野朝四十年悲哀の史蹟を追想するとき、誰か萬斛の涙を禁ぜざるものなからん

大 佛 (高岡驛ノ北三丁)

定塚町に在り延享二年淨土宗極樂寺の徒弟始めて建立し、金色燦たる三丈二尺の座像であつたが、明治三十三年本市の大火で惜くも類焼し、其後銅像にて再建を計り昭和八年五月漸く其竣工を告げ形想端嚴自ら慈懷に抱かる、壯觀を見るに至れり、尊像高二丈四尺五寸、蓮台高一丈、台座高一丈合計高四丈四尺五寸である

二 上 山

市の西北一里射水、水見兩郡の境にあつて、高千六百尺、東西二峰あつて東を二上御前、西を獅子ヶ面又は袴腰といふ、山高からずと雖ども山脚近く有磯海に接し、遠山近海の眺望一眸の裡に納め景致頗る絶佳である  
守山城趾は其西峰袴腰で、正平年間越中守護斯波義將此に據り、天正年間には神保安藝守氏張の居城で後前田利長卿の有に歸したものである

御車山（鉾車）

御車山とは所謂鉾車ダシで通俗之を曳山ヒキヤマと稱し、慶長年間前田利長卿在城の當時市内七ヶ町に一台宛附與せられたもので爾來三百有餘年連綿として今日に至るまで、毎年五月一日高岡關野神社の大祭には鼓琴囃囃市内を曳き廻り、七臺共各多少其構造を異にすれども、金玉の象嵌、描金、彫刻精緻を極め、何れも名工の手になり殆んど桃山時代美術の精華を以て裝られ、當日は遠近の男女老幼群集し來り、市内の雑踏甚しく北陸三縣中隨一の盛況を呈するを例とす

七夕祭

本市の七夕祭は五月大祭の曳山と共に、獨特の年中行事のみに數へらるゝもので、毎年七月六日から七日に亘り男兒ある家々の軒端に高く笹竹を立て、其大なるものは高さ數間に達し數百の紅提灯を結付け、二重三重に意匠を凝した方間大の行燈を掲げ、所謂支那の故事織女星の祭をなすもので、夜間遠く之を望めば道路兩側からの竹は高く天に於て交錯相摩し紅蓮の紅橋正に天を焦さんとする觀ある、七日の夜は數十人の勢子達竹を擔つぎ、音頭手拍子勇しく市中を練りつゝ千保川橋上から竹を河中へ投ずる壯觀は深更まで續くのである、明治三十三年の大火後は一時頽れ現今では再び往時の盛況を見ることを得ないが、猶本市名物の一として幾分其面影を存してゐる

諸統計

附會社組合一覽

諸 統 計 附 會 社 組 合 一 覽

戶 口

年 次	戶 數	現 住 人 口	
		男	女
昭 和 十 四 年	二二,三三四	二九,八一〇	三〇,六七二
十 三 年	二二,一五六	二九,五五三	三〇,五一六
十 二 年	二二,〇七五	二九,四二四	三〇,三九五
十 一 年	二一,七三四	二八,八七八	三〇,〇四一
全 十 年	二一,五九〇	二八,七二五	二九,六七三
全 十 一 年			五八,三二八
全 十 二 年			五八,九一八
全 十 三 年			六〇,〇六八
全 十 四 年			六〇,四八三

職 業 別

(昭和十三年)

種 類	戶 數	男 女		計
		男	女	
農 業	一,〇四二	一,一五七	一,三五二	二,五〇八
水 産	一八	五八	—	五八
工 業	四,五五七	七,三六八	四,一七〇	一一,五三八
計				一五



手形交換高

年次	金額	枚数	交換差額	交換日数
昭和十四年	四四、四〇五、〇一九	八六、〇五三	一一、五九九、四三四	二九九
昭和十三年	三七、三四一、九一〇	八一、二八五	一一、二五五、二五五	二九九
昭和十二年	二六、四三七、九〇四	七七、九七八	一一、二三五、八一四	二九九
昭和十一年	二七、九〇八、三四五	七二、〇七九	九、四八八、七〇一	二九九
昭和十年	三三、〇九二、六三八	六五、八四二	七、八五五、〇四七	三〇一

米穀取引所

年次	賣出		受渡		米價	
	数量	金額	数量	金額	最高	最低
昭和十三年	二九九、五〇〇	九、七七九、二八	七、八〇〇	二五三、二五八	三四、〇〇	三二、六〇
昭和十二年	六七三、四〇〇	二〇、五五二、四二九	八、六〇〇	二六七、三五二	三三、六六	二七、〇〇
昭和十一年	四九〇、四〇〇	一四、一六六、〇二五	八、〇〇〇	二四二、三四三	三二、九〇	二五、九九
昭和十年	六五六、一〇〇	一八、一一七、七七	一一、五〇〇	三二八、六九七	二九、一五	二五、八九

富山縣農産物検査所高岡支所

年次	合格米(甲、乙、丙、丁)	不合格米	計
----	--------------	------	---

年次	生産				其他	等外	計
	昭和十四年度	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十一年度			
一等	一、二四六	一、二七三、三六三	一、三三、七九二	一、四〇、七二二	八四、九四六	一〇六、四七九	三、三七九
二等	六、七五三	一、三三、七九二	一、三六、七〇七	一、四〇、七二二	五六、七三三	七二、二一五	二、〇二二
三等	一、五、三八四	一、三六、七〇七	一、四〇、七二二	一、四〇、七二二	三六、一六八	三六、一六八	二、八三三
四等	五、七三三	一、四〇、七二二	一、四〇、七二二	一、四〇、七二二	四四、五四三	四六、二九三	四〇七
其他	八、四二二	八、九三〇	六、九、三一六	六、九、三一六	三九、七九五	三九、七九五	一〇七
計	二、〇九五、七三三						

通信

種別	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年	昭和十年
郵便預入高	二、〇九五、七三三	一、六五五、一一二	一、二四七、七〇四	一、一一三、三六二	九四四、三八五
郵便拂渡高	四一〇、五二五	二七六、〇二九	一一八、一四九	一〇二、七二九	八七、三七九
貯蓄口數	一、六八〇、二四四	一、二七七、二二二	一、二四六、九三四	一、二二八、四四七	九六四、一七八
貯蓄口數	四四、七二四	四〇、八六四	三八、〇一一	三五、〇四〇	三三、二四七





賃金 ・ 八賄付

職名	性別	給別	昭和十四年		昭和十三年		昭和十二年		昭和十一年		昭和十年	
			最高	最低								
絹糸紡績	女	日給	三、〇〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇
製綿	女	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
機織	女	日給	一、五〇〇	一、〇〇〇								
擦染	女	日給	一、〇〇〇									
足袋	女	日給	一、〇〇〇									
染物	女	日給	一、〇〇〇									
器物	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
治器	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
銅器	男	日給	三、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇
銀器	男	日給	三、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇
清酒	男	月給	三、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇
醬油	男	月給	三、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇
菓子	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
漆器(塗師)	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
傘	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
和傘	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
下駄	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇
細工	男	日給	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇

重要工産物

種別	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年	昭和十年					
						製靴	男	一、八〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
桶	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
活版	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大字	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大工	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
左官	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
ペンキ塗	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
瓦葺	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
疊工	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
庭師	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
仲仕	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
日雇人	男	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
下下	女	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
銅器	男	二、四〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	四、三三〇、〇〇〇	五、二九八、二六五	五、二七六、一五五				
漆器	男	七、九五〇、〇〇〇	七、五五〇、七四一	七、六五〇、〇〇〇	一、〇三三、六〇〇	七、一一〇、三三七				
絹織物	男	九、五〇〇、〇〇〇	七、〇七二、二六八	一〇、二〇九、一五	七、九九二、九三	五、二〇三、六三〇				
絹糸紡績	男	一、八三六、一〇七	六、四四一、六三四	九、八〇〇、八七七	七、九二一、三二八	八、二七、八八三				
綿織物	男	一、二五〇、一三二	一、五二一、三三五	一、六七五、〇七五	一、三三九、八四七	一、四八五、二九二				

種別	製造戸數	職工數	公表差控
絹綿捺染	製造戸數	職工數	一、六三〇
絹糸紡績	製造戸數	職工數	四、六四一
綿織物	製造戸數	職工數	五〇九
製綿器	製造戸數	職工數	一一〇
銑器	製造戸數	職工數	一一〇
木製品	製造戸數	職工數	九六
賣藥	製造戸數	職工數	四六〇
清酒	製造戸數	職工數	二七八
菓子	製造戸數	職工數	四九〇
和傘	製造戸數	職工數	二九二
金銀細工	製造戸數	職工數	八九
毛糸編物	製造戸數	職工數	三〇三
絹織物	製造戸數	職工數	一八二
曹達製品	製造戸數	職工數	一八二
公表差控			四六八

種別	製造戸數	職工數	公表差控
絹綿捺染	製造戸數	職工數	一、七四二
絹糸紡績	製造戸數	職工數	四九七
綿織物	製造戸數	職工數	五三七
製綿器	製造戸數	職工數	一一〇
銑器	製造戸數	職工數	一一〇
木製品	製造戸數	職工數	九八
賣藥	製造戸數	職工數	四九〇
清酒	製造戸數	職工數	二九二
菓子	製造戸數	職工數	四九〇
和傘	製造戸數	職工數	二九二
金銀細工	製造戸數	職工數	八八
毛糸編物	製造戸數	職工數	三〇三
絹織物	製造戸數	職工數	一七二
曹達製品	製造戸數	職工數	一七二
公表差控			四七五

種別	製造戸數	職工數	公表差控
絹綿捺染	製造戸數	職工數	一、六八九
絹糸紡績	製造戸數	職工數	五二〇
綿織物	製造戸數	職工數	五七〇
製綿器	製造戸數	職工數	一一〇
銑器	製造戸數	職工數	一一〇
木製品	製造戸數	職工數	九一
賣藥	製造戸數	職工數	三〇六
清酒	製造戸數	職工數	五四八
菓子	製造戸數	職工數	三〇六
和傘	製造戸數	職工數	九一
金銀細工	製造戸數	職工數	三三
毛糸編物	製造戸數	職工數	一六八
絹織物	製造戸數	職工數	一六八
曹達製品	製造戸數	職工數	一六八
公表差控			五一九

種別	製造戸數	職工數	公表差控
絹綿捺染	製造戸數	職工數	一、三〇六
絹糸紡績	製造戸數	職工數	四八九
綿織物	製造戸數	職工數	五三一
製綿器	製造戸數	職工數	一一〇
銑器	製造戸數	職工數	一一〇
木製品	製造戸數	職工數	八八
賣藥	製造戸數	職工數	三〇六
清酒	製造戸數	職工數	五四八
菓子	製造戸數	職工數	三〇六
和傘	製造戸數	職工數	九一
金銀細工	製造戸數	職工數	三三
毛糸編物	製造戸數	職工數	一七五
絹織物	製造戸數	職工數	一七五
曹達製品	製造戸數	職工數	一七五
公表差控			三三〇

種別	製造戸數	職工數	公表差控
絹綿捺染	製造戸數	職工數	一、一六四
絹糸紡績	製造戸數	職工數	四九五
綿織物	製造戸數	職工數	五四五
製綿器	製造戸數	職工數	一一〇
銑器	製造戸數	職工數	一一〇
木製品	製造戸數	職工數	八八
賣藥	製造戸數	職工數	三〇六
清酒	製造戸數	職工數	五四八
菓子	製造戸數	職工數	三〇六
和傘	製造戸數	職工數	九一
金銀細工	製造戸數	職工數	三三
毛糸編物	製造戸數	職工數	一六八
絹織物	製造戸數	職工數	一六八
曹達製品	製造戸數	職工數	一六八
公表差控			二九七

種別	製造戸數	職工數	公表差控
製鐵器	製造戸數	職工數	七三五、〇〇〇
木製品	製造戸數	職工數	二二七、五〇〇
賣藥	製造戸數	職工數	五一、三九八
清酒	製造戸數	職工數	二四五、〇〇〇
菓子	製造戸數	職工數	一八九、〇〇〇
和傘	製造戸數	職工數	二五二、五〇〇
金銀細工	製造戸數	職工數	一七八、七五〇
毛糸編物	製造戸數	職工數	一〇〇、〇〇〇
絹織物	製造戸數	職工數	一、〇〇〇、〇〇〇
曹達製品	製造戸數	職工數	一、〇三三、二七
鐵鋼機械器具類	製造戸數	職工數	公表差控
スフノ	製造戸數	職工數	公表差控
其他	製造戸數	職工數	三、八九八、九四〇
合計			一六、五八五、一五四
			四〇、八七七、六三八

種別	製造戸數	職工數	公表差控
製鐵器	製造戸數	職工數	八二五、〇〇〇
木製品	製造戸數	職工數	二二二、〇〇〇
賣藥	製造戸數	職工數	五一、六九七
清酒	製造戸數	職工數	二四七、六二八
菓子	製造戸數	職工數	二一九、六一一
和傘	製造戸數	職工數	二五二、九一〇
金銀細工	製造戸數	職工數	一六二、五〇〇
毛糸編物	製造戸數	職工數	一五〇、〇〇〇
絹織物	製造戸數	職工數	一、二〇〇、〇〇〇
曹達製品	製造戸數	職工數	八八四、八七六
鐵鋼機械器具類	製造戸數	職工數	公表差控
スフノ	製造戸數	職工數	公表差控
其他	製造戸數	職工數	二、七〇〇、四七二
合計			一四、二六二、〇一六
			三三、五四七、一七六

種別	製造戸數	職工數	公表差控
製鐵器	製造戸數	職工數	一、一〇〇、〇〇〇
木製品	製造戸數	職工數	二八二、〇〇〇
賣藥	製造戸數	職工數	六〇六、八三三
清酒	製造戸數	職工數	二五八、八六七
菓子	製造戸數	職工數	二二二、五六〇
和傘	製造戸數	職工數	二五〇、五二二
金銀細工	製造戸數	職工數	一四八、五〇〇
毛糸編物	製造戸數	職工數	一六五、〇〇〇
絹織物	製造戸數	職工數	九五三、五〇〇
曹達製品	製造戸數	職工數	七六一、一六〇
鐵鋼機械器具類	製造戸數	職工數	公表差控
スフノ	製造戸數	職工數	公表差控
其他	製造戸數	職工數	三三五、一四九
合計			三、一三七、五〇九
			二九、四七七、四八一

種別	製造戸數	職工數	公表差控
製鐵器	製造戸數	職工數	一、一八五、九五〇
木製品	製造戸數	職工數	二八〇、〇〇〇
賣藥	製造戸數	職工數	六〇二、三三三
清酒	製造戸數	職工數	二六四、六〇〇
菓子	製造戸數	職工數	二四八、九一七
和傘	製造戸數	職工數	二六三、一六四
金銀細工	製造戸數	職工數	一八五、二〇〇
毛糸編物	製造戸數	職工數	一五〇、〇〇〇
絹織物	製造戸數	職工數	四五四、二九二
曹達製品	製造戸數	職工數	七〇六、四八八
鐵鋼機械器具類	製造戸數	職工數	公表差控
スフノ	製造戸數	職工數	公表差控
其他	製造戸數	職工數	二、二〇四、三〇四
合計			三、五〇九、六二二
			二二、〇〇九、六二二

種別	製造戸數	職工數	公表差控
製鐵器	製造戸數	職工數	一、二八七、七五〇
木製品	製造戸數	職工數	二六八、五〇〇
賣藥	製造戸數	職工數	五五二、七八一
清酒	製造戸數	職工數	二九四、〇〇〇
菓子	製造戸數	職工數	一四二、一〇七
和傘	製造戸數	職工數	二二九、二四〇
金銀細工	製造戸數	職工數	一七五、〇〇〇
毛糸編物	製造戸數	職工數	一五五、〇〇〇
絹織物	製造戸數	職工數	四四五、二八五
曹達製品	製造戸數	職工數	二八〇、〇六七
鐵鋼機械器具類	製造戸數	職工數	公表差控
スフノ	製造戸數	職工數	公表差控
其他	製造戸數	職工數	一、六四二、五二二
合計			一九、六二二、八二五
			一九、六二二、八二五

鐵器 鋼具 機械類	製造戶數	職工數	公表差控
スフ 紡績系	製造戶數	職工數	公表差控

諸 稅

種 別	昭 和 十 四 年 度	昭 和 十 三 年 度	昭 和 十 二 年 度	昭 和 十 一 年 度	昭 和 十 年 度
地 租	二七、二七六	二七、八六二	三〇、〇三三	二九、八九八	二九、九七四
所 得 稅	三八、一九一	二〇七、六二八	一五九、七八七	六三、〇八七	四五、五六〇
第 一 種	三三、三三一	三〇、五四〇	二二、八〇七	一六、八一〇	一八、二九二
第 二 種	三〇、六一六	二四五、五一一	一六五、三七五	九三、四五六	八八、五四八
第 三 種	一七、九五五	一五、三二五	一一、五九五	六、六四九	七、三二七
資 本 利 子 稅	一、七五三	二、〇三九	一、七四八	八三九	一、一六七
營 業 收 益 稅	一三三、三三一	九一、五三三	九九、七七六	七四、二七八	五九、七八八
酒 造 稅	九六、四四二	一〇八、二二六	九七、〇二七	七九、四三二	七五、七七二
清 涼 飲 料 稅	七、二八〇	四、六九七	四、〇三三	二、八四九	三、六〇七
取 引 所 費 稅	五九六	四、九一〇	一、一三五	九、〇一九	八、九七七
織 物 消 費 稅	五四、三九八	三五、二七	二八、四三二	二五、六〇八	九、八八三
相 續 費 稅	一七、二二七	一五、九八六	一一、七三一	五、六一四	八、四八四
臨 時 利 得 稅	一四、一〇四	四、一七三	二二、三七三	三、九〇七	五、五四七
法 人 資 本 稅	三六、六二〇	三三、二四〇	三三、二四〇	一七二	一、一
外 債 特 別 稅	一	一八三	九三	一七二	一

市 稅	縣 稅	稅
國 稅 附 加 稅 地 價 稅 所 得 稅 營 業 收 益 稅 取 引 所 營 業 稅 割	地 租 附 加 稅 特 別 地 稅 所 得 稅 附 加 稅 營 業 收 益 稅 附 加 稅 取 引 所 稅 附 加 稅 營 業 稅 雜 種 稅 家 屋 稅 都 市 計 畫 特 別 稅	押 發 油 稅 有 價 證 券 移 轉 稅 砂 糖 消 費 稅 利 益 配 當 稅 入 場 常 稅 物 品 食 稅 遊 興 飲 食 稅
一、五七五 四六、五八六 一、三三三 六	二六五、〇九六 六四、二二〇 一、三九四 二四、三二九 二四、三二一 二四、三二一 六四、二二〇 一、三九四	一、四三三、四一〇 七二、四六一 八八、六一九 八、〇三七 三、九七六 一七六 五、二四二
一七、三三四 二二、六八七 七、七六七 六〇	二六七、〇四四 一、四四六 六三、三六七 四三、二五六 四、二五二 二五、三三二 二五、三三二 六〇	二、九〇〇 七六 二八、三六九 五、八〇八 二、〇九六 五、三四九 九三、九七二
一九、〇二二 一七、六八六 六三、八九六 一三七	二四六、六三三 一、〇四六 六一、五三四 四九、五六七 二、五八三 二、五八三 二、五八三	一六三 三、三九二 六八三 五、二六二 二四、三七七 一三七 二、五八三
一八、六七九 一四、二五一 五九、四九五 一一三	三二七、三三六 二、六八〇 五九、〇九五 六、一五六 六、一五六 二、六八七	四二、四四六 四二、四四六 六六、五九四 六二、〇三三 一三三 二、六八七
一八、四三四 一三、七八八 五七、二五九 一二五	二九四、九四六 二、〇七四 五八、八一四 六、一七四六 二、〇七四	四七、二八九 一、三三三 五五、〇三五 四八、〇五六 一、二五



# 會社一覽

(昭和十五年九月末日現在)

## 株式會社

商號	業種	所在地	設立年月	總額	本拂込額	積立金	代表者氏名
株式會社 高岡銀行	銀行業	守山町	大正九、六	一、六三、五〇〇	九、五三、二五〇	三、八五、〇〇〇	頭取 高廣次 平
高岡魚業株式會社	魚類、委	檜物屋町	明治二四、一〇	一〇〇,〇〇〇	六五,〇〇〇	五、三四七	常務 正村六之助
高岡魚市株式會社	全	上川原町	四四、一〇	一〇〇,〇〇〇	六五,〇〇〇	五、三九七	全 荻布宗四郎
株式會社 高岡青果市場	青物果實乾物、 販、委、糶	鴨島町	大正七、六	一〇〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	三六、七〇〇	全 五箇元次郎
全丸一高岡物市場	糶	二番町	七、二一	一〇〇,〇〇〇	六二、五〇〇	八、三〇〇	全 藤川彌三吉
中越土木株式會社	土木建築請負	下關	八、二二	五〇〇,〇〇〇	四七四、二〇〇	—	全 島田純一郎
高岡砂糖株式會社	砂糖麥粉、賣	木舟町	九、二	三〇〇,〇〇〇	二三五、〇〇〇	七五、五七五	全 油谷彌平
北一株式會社	代理問屋 炭、石、油、 代理問屋 炭、石、油、 代理問屋 炭、石、油、	小馬出町	九、四	一〇〇,〇〇〇	八三、二〇〇	一、五〇〇	全 室崎佐太郎
株式會社 グリーンホール	棚賃、食堂	下關	二、二	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	—	全 釣谷又右衛門
全小杉商店	炭、燃料、製、 販、代理業	中川原町	昭和二、二	三〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	一五、〇〇〇	全 小杉正二
北國石炭株式會社	炭、燃料、製、 販、代理業	横田	六、八	四五〇,〇〇〇	四五〇,〇〇〇	八五、〇〇〇	全 辻久太郎

業種	所在地	設立年月	總額	本拂込額	積立金	代表者氏名	
株式會社 高岡藥房	調劑、工業製品、常用品 化粧品、食料品	末廣町	七、七	一〇,〇〇〇	五,〇〇〇	—	全 山本敬三郎
北陸水産株式會社	海産物委、冷蔵 庫、倉庫業	中川原町	八、三	二〇〇,〇〇〇	一三五,〇〇〇	八、〇〇	全 小杉正二
新興産業株式會社	自動車附屬品販	定塚町	一〇、二	三〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	—	全 柴野保
高海産物株式會社	海産物、委、倉庫	檜物屋町	二、四	五〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇〇	全 荻布與三太郎
關東鈔型株式會社	特許捺染型ノ製	定塚町	二、一	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	—	全 井波義兵衛
北陸鐵道株式會社	日滿鐵道販、鉄 鐵ノ賣	金屋町	一三、二	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	—	全 金森藤平
富染商事株式會社	各種織物委並加 工販	木津	一四、四	一五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	—	全 井波清治郎
守護商事株式會社	北陸物産卸販委	一番新町	一四、六	五〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	—	全 守護辰次郎
富山縣株式會社	石油類ノ賣	下關	一五、一	三三〇,〇〇〇	一七五,〇〇〇	—	全 長沼山太郎
石油販賣株式會社	編物ノ製、販、 加工	堀上町	一五、三	二〇,〇〇〇	五,〇〇〇	—	全 和田一郎
北日本帛株式會社	賣藥、製	新横町	明治三九、七	二〇,〇〇〇	一、五〇〇	三、二七	全 高畑貴一
高岡藥劑株式會社	製綿、原料販	横田	四〇、三	二五〇,〇〇〇	二〇六、二五〇	四七、〇〇〇	全 木津太郎平
高岡打綿株式會社	人造氷、雪、製、物品冷 藏、貯藏、冷蔵品	中島町	四三、八	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	一八、〇〇〇	全 荻布宗太郎
高岡産業株式會社	瓦斯、製	横田	大正三、四	二〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	九、〇〇〇	全 吉田作助
高岡瓦斯株式會社	印刷業	涼町	六、四	一五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	—	常務 朝山次助
高岡印刷株式會社	漆器販、製	宮脇町	八、四	二五〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	一、四〇〇	社長 塩崎利平



合資會社

商號	業種	所在地	設立年月	資本金	積立金	代表者氏名
合資會社巴組鐵店	鐵鋼金物類セメントノ販並	片原横町	二二・七	五〇、〇〇〇	—	小野田清次郎
全 荻野八郎商店	雜貨小間物	下川原町	二二・二	五、〇〇〇	—	荻野八郎
全 淺野セメント	セメント販	片原横町	一五・三	一〇〇、〇〇〇	—	袴信一郎
全 富山縣販賣店	履物販	定塚町	昭和三三	五〇、〇〇〇	—	井上東策
全 井上商店	賣藥、化粧品販	橋番町	六・八	五、〇〇〇	—	津島いぢ
全 津島藥局	藥品、化粧品、工業品販	横田町	六・九	六〇〇	—	坂口周三
全 坂口商店	砂糖、麥粉、綿、和洋食料	守山町	六・一〇	五、〇〇〇	—	野村清吉
全 野村屋	品販、代理	中川	六・二	五〇〇	—	山谷ちか
全 田中商店	青乾物、菓子販	金屋町	七・五	五、〇〇〇	—	喜多五平
全 喜多重商店	銅鐵器類並ニ漆器販、仲立	小馬出町	七・六	三、五〇〇	—	有澤しげ
全 有澤時計店	時計、蓄音器、ラヂオ、貴金屬販	小馬出町	七・六	五、〇〇〇	—	關理太郎
全 關商店	洋服製	片原横町	七・一〇	一一、〇〇〇	—	尾山健二
全 尾山吳服店	吳服大物、販	新横町	八・七	二、〇〇〇	—	原田秀雄
全 高岡農産會社	農器具卸、小、修繕					

合名會社

商號	業種	所在地	設立年月	資本金	積立金	代表者氏名
全 高橋商店	茶、度量衡、販	通町	九・五	三、〇〇〇	—	高橋半次郎
昭和合資會社	輪業、金物、硝子	中島町	一一・三	一、五〇〇	—	吉村弘吉
合資會社三共商會	酒、醬油、味噌販	南町	一一・五	一、二〇〇	—	竹内善一
北陸製紙合資會社	製紙原料ノ蒐集販	宮脇町	一四・三	一〇、〇〇〇	—	二日市正雄
合資會社植木商店	米穀、薪炭販	定塚町	一五・六	—	—	井上東策
高岡庚辰合資會社	不動産ノ賣、賃貸	源町	一五・四	三〇、〇〇〇	—	井上幸三郎
日本板金合資會社	板金細工、金物製、販、銅器製	下關	四・五	三〇、〇〇〇	—	井上幸三郎
合資會社蒲田染物店	染物委	塩倉町	六・五	三、二〇〇	—	蒲田六四郎
全 熊谷商店	各種器機具製、販及買取仲介、各種加工品、日用雜品ノ賣、製有修理、販化學工業品ノ販賣仲介	源町	一〇・七	二〇、〇〇〇	一、六〇〇	熊谷善太郎
全 清水分織物工場	人絹織物業	内免	一三・四	一〇、〇〇〇	—	龜谷由吉
合名會社共同商會	清涼飲料水製	南町	昭和三三	六、〇〇〇	—	戸出豊吉



組 合 名	認可年月	組合員數	出資總額	拂込額	所在地	理事長名
高岡米穀小賣商業組合	一〇・三	九〇	一〇,〇〇〇	二,五〇〇	榮町	藤卷 爲一
高岡銅漆器卸賣商業組合	一一・二	一〇六	九,六三〇	二,五六二	櫻馬場	河野常太郎
高岡飲食業商業組合	一一・三	一三二	一四,〇〇〇	二,五〇〇	片原町	山本七三郎
富山縣西部屠物問屋商業組合	一一・二	三三	二一,〇〇〇	五,三三五	櫻馬場	吉江 半助
富山縣綿糸商業組合	一一・四	三三	二,〇〇〇	五〇〇	小馬出町	室崎 佐太郎
末廣町商店街商業組合	一一・八	六七	五,〇〇〇	一,二五〇	末廣町	梶川 伊八郎
富山縣クリーニング商業組合	一一・二	四〇	四,五〇〇	一,一三〇	鴨島町	關 友次郎
富山縣護謄製品卸商業組合	一一・九	一四	五,〇〇〇	一,二五〇	小馬出町	大間知 喜一郎
高岡 吳服商業組合	一一・二	四七	一〇,〇〇〇	二,五〇〇	小馬出町	梅田 彦太郎
高岡莫大小雜貨商業組合	一一・二	四五	五,六〇〇	一,四〇〇	小馬出町	本間 常吉
高岡 故銅商業組合	一一・三	一三	八〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	横田町	佐山 長三郎
高岡自轉車小賣商業組合	一一・五	二六	四,六〇〇	一,一五〇	片原横町	綿木 林藏
富山縣落綿卸商業組合	一一・八	七	一七,五〇〇	四,三七五	横田	室崎 佐太郎
高岡 金物商業組合	一一・九	四三	四,〇〇〇	一,〇〇〇	末廣町	杉本 喜右衛門
高岡織物卸商業組合	一一・一〇	四三	一〇,〇〇〇	二,五〇〇	小馬出町	石黒 茂三郎

組 合 名	認可年月	組合員數	出資總額	拂込額	所在地	理事長名
高岡 豆腐商業組合	一一・三	二六	一〇,〇〇〇	二,七五〇	小馬出町	藤田 恒善
高岡薪炭小賣商業組合	一一・三	二六	四,三〇〇	一,〇九五	通町	萩矢 彌四郎
高岡コークス商業組合	一一・二	七九	一九,〇〇〇	四,七五〇	二番新町	本保 外吉
高岡既製品洋服小賣商業組合	一一・二	一五	一七,〇〇〇	四,二五〇	百姓町	本領 要吉
高岡ゴム製被服類小賣商業組合	一一・四	一五	六,〇〇〇	一,五〇〇	坂下町	金森 淺次郎
富山縣染料小賣商業組合	一一・六	四二	四,〇〇〇	一,〇〇〇	小馬出町	中條 源藏
高岡米穀卸商業組合	一一・一〇	九	一〇,〇〇〇	二,五〇〇	横田町	多田 太三郎
認可申請中ノモノ		四三	四五,〇〇〇	四五,〇〇〇	上川原町	松澤 元吉
高岡 洋服商業組合						
富山縣吳西時計眼鏡商業組合						
高岡綿小賣商業組合						
高岡荒物卸商業組合						
高岡鮮魚小賣商業組合						
高岡塩干魚卸商業組合						

工業組合

組名	認可年月	組合員數	出資總額	拂込額	事務所所在地	理事長名
富山縣輸出織物染色工業組合	昭九・二	九	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	湫町	碓井榮太郎
富山縣瓦工業組合	九・八	一六	二,四八〇	三,二〇〇	中川	中島松次郎
富山縣友仙工業組合	二・七	八	六,二五〇	一,五六二	湫町	碓井榮太郎
高岡鐵工機械器具工業組合	二・七	三八	五,〇〇〇	一,二五〇	中島町	藤田甚右衛門
富山縣莫大小工業組合	二・二	四七	五,〇〇〇	一,五〇〇	湫町	津田平治
高岡板金工業組合	三・三	七〇	二,八二〇	三,二五〇	坂下町	中田忠七
富山縣製綿工業組合	三・三	四五	一五,〇〇〇	三,七五〇	横田	室崎佐太郎
高岡漆器工業組合	三・三	一七九	二四,六六〇	六,三三〇	下關	木勢清太郎
高岡銅器工業組合	三・四	四四	七二,四五〇	一八,二〇〇	金屋町	大寺幸八郎
高岡建具工業組合	三・四	八〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇	油町	大坪次郎
高岡鑄造工業組合	三・五	二四	五,〇〇〇	一,二五〇	木町	茂住茂太郎
高岡和傘工業組合	三・五	六二	三,五〇〇	九〇一	大坪町	山崎眞造
高岡鍛工工業組合	三・六	五三	一,五〇〇	三七五	横田町	鍋谷平二

高岡亞鉛引鐵板工業組合	三・六	五一	一,五二〇	三六〇	下川原町	二上榮太郎
高岡毛糸編物工業組合	三・六	二二	五,〇六〇	一,二六五	坂下町	島津清次郎
富山縣糸染晒工業組合	三・七	一五	一,〇〇〇	—	小馬出町	杉森丈之助
富山縣吳西皮革製品工業組合	三・八	六二	五,〇〇〇	一,二五〇	末廣町	市村正一
富山縣ステールファイバー織物染色工業組合	三・七	一四	七,〇〇〇	一,七五〇	湫町	碓井榮太郎
高岡被服工業組合	三・二	三五	五,〇〇〇	一,二五〇	宮脇町	吉田仁平
富山縣西部洋服工業組合	三・二	一四五	五,〇〇〇	一,二五〇	坂下町	小島兵次
高岡再生銑鐵工業組合	三・二	五	二,〇〇〇	五〇〇	金屋町	喜多喜三郎
富山縣足袋工業組合	三・三	一七	五,〇〇〇	一,二五〇	博勞町	木谷吉次郎
富山縣アルミニウム物工業組合	三・三	九	五,〇〇〇	一,二五〇	一番新町	守護辰次郎
富山縣和紙工業組合	三・三	九	二,〇〇〇	五〇〇	清水町	荒野直次郎
高岡佛檀榎地工業組合	三・五	二二	三,二〇〇	八二五	定塚町	大石外次郎
高岡箆筒工業組合	三・六	三四	五,八六〇	一,四六五	檜物屋町	桶村吉三郎
富山縣煉炭工業組合	三・六	八	四,二〇〇	一,〇七五	横田	辻久太郎
富山縣鍍工業組合	三・九	九	一,〇〇〇	二五〇	金屋町	稻垣久四郎
高岡角丁工業組合	三・九	一五	七,五〇〇	三,七五〇	横田町	關谷兵二

名	稱	所在地	組合員數	名	稱	所在地	組合員數
高岡洋家具工業組合			一四・三	四、〇〇〇	末廣町	小島 徳次	
北陸製飴工業組合			一五・三	五、〇〇〇	中川	藤田 榮次郎	
高岡菓子工業組合			一五・四	一五、四八〇	上川原町	頭川 善平	
高岡蠶工業組合			一五・五	六、四〇〇	片原町	金刺 龜太郎	
高岡機械木型工業組合			一五・六	四、〇〇〇	御馬出町	高森 金藏	
高岡染色工業組合			一五・六	四、九八〇	堀上町	島 九郎兵衛	
高岡コンクリート製品工業組合			一五・八	四、〇〇〇	下關	高 與七	
高岡アイスクヤンデー工業組合			一五・八	四、二〇〇	小馬出町	福富 善治	
認可申請中ノモノ							
高岡衣衞工業組合							
高岡印刷製本工業組合							
保証責任高岡漆器信用購買販賣組合	平米町		三	全 横田信用購買販賣利用組合	横田		七五〇

産業組合

有限責任高岡信用組合	御馬出町	二、六六	高岡北部信用購買販賣利用組合	大坪町	二五
全下關購買販賣利用組合	下關	二九〇			

同業組合

名	稱	所在地	組合員數	名	稱	所在地	組合員數
高岡漆器同業組合		櫻馬場	二六	富山縣賣藥同業組合高岡支部		新横町	二六
高岡捺染同業組合		涼町	二三				

準則組合

名	稱	所在地	組合員數	名	稱	所在地	組合員數
高岡酒類組合		源平町	三	高岡佛壇組合		楡物屋町	一六〇

申合組合

名	稱	所在地	組合員數	名	稱	所在地	組合員數
---	---	-----	------	---	---	-----	------

高岡織物組合	高岡市賣藥請賣營業組合	高岡織物卸商組合	高岡質屋營業組合	高岡海產物組合	高岡魚商組合	富山縣建築協會高岡支部	高岡市藥品組合	高岡化粧品小賣組合	高岡雜貨五業卸商組合	高岡宿屋專業組合	高岡料理屋營業組合	高岡材木商組合	高岡青果同業組合	高岡鍼灸按摩組合	高岡乗合自動車組合
坂下町	新横町	利屋町	堀上町	木町	中川原町	利屋町	木舟町	末廣町	小馬出町	下關	坂下町	榮町	下川原町	三番町	下關
八	二九	三	六	九〇	三九	二五	三	二三	三	三	三〇	三	二六	二	二
高岡浴場營業組合	富山縣自動車協會高岡支部	富山縣自轉車業組合高岡支部	高岡醬油醸造組合	高岡市印刷業組合	高岡米穀市場員組合	高岡市醫師會	高岡產婆組合	高、射酒釀造組合	高岡理髮業組合	高岡女髮結組合	高岡陶磁器商組合	高岡紙商組合	高、射煙草小賣人組合	高岡塩小賣人組合	高岡市看護婦會
源平町	片原町	坂下町	博勞町	涼町	御馬出町	油町	油町	横田町	定塚町	御旅屋町	三番町	小馬出町	小馬出町	宮脇町	末廣町
三	五	四	八	三	三	四	三	八	六	九〇	一四	八	四三	五〇	六

高岡井戸唧筒組合	高岡表具業組合	高岡銀器業組合	高岡周旋營業組合	高岡明業組合	高岡彫金改良實行組合	高岡荒物組合	高岡羅紗洋服組合	高岡塗裝看板組合	高、射製麵業組合	高岡時計商工組合	高岡蓄音器業組合	高岡ラヂオ電氣商組合	高岡衣服組合
宮脇町	袋町	坂下町	二丁町	小馬出町	二番新町	小馬出町	坂下町	下關	片原町	中島町	堀上町	御旅屋町	旅籠町
二〇	三	三五	五〇	三〇	一〇〇	九	五	二	三	二六	六	三	三〇
高岡青果乾物卸業組合	高岡銑器業組合	高岡輸出包裝木箱組合	高岡靴組	高岡履物組合	高岡メリヤス小賣組合	高岡石炭業組合	北陸ミルクブランド購買組合	高岡羽衣料理業組合	高岡賭業組合	高岡帽子商組合	富山縣硝子器商組合	富山縣眼鏡專門店組合	
坂下町	金屋町	一番新町	定塚町	御旅屋町	小馬出町	中島町	鴨島	羽衣町	二丁町	片原町	源平町	御旅屋町	
一四	八	八	三	三	二六	八	二	三	三	一八	一〇〇	二	

408  
420

昭和十五年十月十一日印刷  
昭和十五年十月十四日發行 (非賣品)

發行所

高岡市利屋町一番地

高岡商工會議所

印刷者

高岡市利屋町三番地  
小間義雄

印刷所

高岡市利屋町三番地  
小間印刷所

終

